

# PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 08-107932  
 (43)Date of publication of application : 30.04.1996

(51)Int.Cl. A61M 5/32

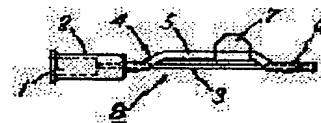
(21)Application number : 06-281130 (71)Applicant : OHINATA SADAHIRO  
 (22)Date of filing : 07.10.1994 (72)Inventor : OHINATA SADAHIRO

## (54) INJECTION NEEDLE

### (57)Abstract:

PURPOSE: To provide an injection needle with which the safe discarding treatment of the injection needle after use is possible.

CONSTITUTION: This injection needle is formed by joining a socket 2 having a fitting part 1 of a recessed shape facing laterally to the base of a needle body 3. An intermediate part 5 of a tube 4 fitted and fixed onto the side of this needle body 3 at the inside end of the socket is detached from the needle body 3. The front end of the needle body 3 is guided freely retractably and exposably over the required length in the front end 6 and a freely flexible knob 7 is disposed on the outside surface of the intermediate part 5 of the tube 4.



## LEGAL STATUS

[Date of request for examination]

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2000 Japan Patent Office

**This Page Blank (uspto)**

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平8-107932

(43)公開日 平成8年(1996)4月30日

(51)Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

府内整理番号

F I

技術表示箇所

A 61M 5/32

審査請求 未請求 請求項の数1 書面 (全3頁)

(21)出願番号 特願平6-281130

(22)出願日 平成6年(1994)10月7日

(71)出願人 392012250

大日向 貞弘

秋田県由利郡東由利町宿字大琴83

(72)発明者 大日向 貞弘

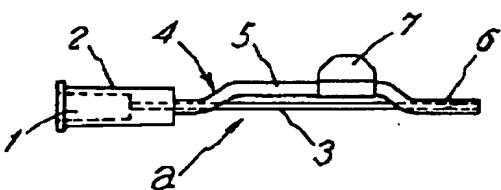
秋田県由利郡東由利町宿字大琴83

(54)【発明の名称】 注射針

(57)【要約】

【目的】 使用後の注射針を安全に廃棄処理できる注射針を提供する。

【構成】 横向き凹状の嵌合部1を有する受口2を針本体3の基部に接合して成る注射針において、針本体3の受口内端側に外嵌固着したチューブ4の中間部5を針本体3から離脱させ、先端部6において所要長さに渡って該針本体3の先端を収蔵、露出自在に案内するとともに、該チューブ4の中間部5の外面に折曲自在なツマミ7を配設して成る。



1: 嵌合部

2: 受口

3: 針本体

4: チューブ

5: 中間部

6: 先端部

7: ツマミ

2: 注射針

## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 注射器本体の先端部射出口に気密状に嵌合する受口を針本体の基部に接合して成る注射針において、針本体の受口内端側に外嵌固着したチューブの先端部に該針本体の先端を収藏、露出自在に案内するとともに、該チューブの外面に折曲自在なツマミを配設して成る注射針。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】 本発明は医療現場で安全に取扱いできる注射針に関する。

【0002】

【従来の技術】 注射器本体に着脱自在な注射針は、全体が筒状のキャップに収納された状態で提供されているが、使用後該キャップを被せるまでの間が注射針先端を露出することになり、危険な一瞬となる。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 本発明は使川後の注射針を安全に廃棄処理できる注射針を提供するものである。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明の注射針は、注射器本体の先端部射出口に気密状に嵌合する受口を針本体の基部に接合して成る注射針において、針本体の受口内端側に外嵌固着したチューブの先端部に該針本体の先端を収藏、露出自在に案内するとともに、該チューブの外面に折曲自在なツマミを配設して成る。

【0005】

【作用】 注射針の使用時には、ツマミを引き上げることによってチューブの先端が針本体の基部側へ移動して該針本体の先端を露出し、使用後はツマミを押し下げるこ<sup>ト</sup>によって瞬時に針本体の先端をチューブ内に収藏する。

【0006】

【実施例】 本発明を一実施例により説明すると、図1に示すように、横向き凹状の嵌合部1を有する受口2を針本体3の基部に接合して成る注射針において、針本体3の受口内端側に外嵌固着したチューブ4の中間部5を針本体3から離脱させ、先端部6において所要長さに波つ

て該針本体3の先端を収藏、露出自在に案内するとともに、該チューブ4の中間部5の外面に折曲自在なツマミ7を配設して成る。

【0007】 このようにして成る注射針aは、図2に示すように注射器本体8の射出口9を受口2の嵌合部1に気密状に嵌合し、ツマミ7をつまんで引き上げることによって針本体3の先端を露出して使用されるものであり、使用後はツマミ7を押し下げるだけで、図1に示す状態となり、針本体3に一切触れることなく、しかも瞬時に該針本体3の針先をチューブ4内に収納でき、その状態で図3に示すようにキャップ10に収納できるから、極めて安全に廃棄処理できるものである。

【0008】 このほか、チューブ4の中間部5に相当する下面に所要長さに渡って切り目(図外)を入れ針本体3の全長をチューブ4内に収納したものや、蛇腹状のチューブ(図外)に針本体3の全長を収納したものなども提供され得る。

【0009】

【発明の効果】 以上のように本発明の注射針によれば、使用後瞬時に針先をチューブ内に収藏できるから、キャップを被蓋するまでに不注意で指先に針先を突き刺したり、血液に触れることがないから、極めて安全に廃棄処理できる効果がある。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明に係わる注射針aの一側面図である。

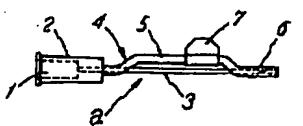
【図2】 該注射針aの使用状態の説明図である。

【図3】 該注射針aの廃棄状態の説明図である。

## 【符号の説明】

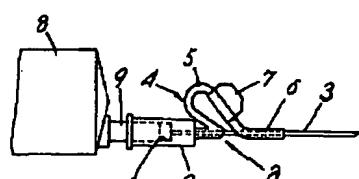
- 1 嵌合部
- 2 受口
- 3 針本体
- 4 チューブ
- 5 中間部
- 6 先端部
- 7 ツマミ
- 8 注射器本体
- 9 射出口
- 10 キャップ
- a 注射針

【図1】



- 1: 嵌合部
- 2: 受口
- 3: 針本体
- 4: チューブ
- 5: 中間部
- 6: 先端部
- 7: ツマミ
- a: 注射針

【図2】



- 8: 注射器本体
- 9: 射出口

【図3】

